

問1 「昼間人口」という指標の説明として正しいものはどれですか。都市の機能や役割を考えるうえでの定義に基づいて選んでください。 (2026年

新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. その地域に住民票がある人の数に、一日のうちにその地域を訪れた観光客の総数を加えたもの。 | 2. その地域に住んでいる住民の数（夜間人口）に、他の地域から通勤・通学してくる人を加え、その地域から外へ通勤・通学する人を引いたもの。 | 3. 特定の日の正午時点において、その地域の市街地に滞在していることが確認された人々の総数。 | 4. その地域で働いている労働者の数から、その地域にある学校に通っている児童・生徒・学生の数を引きいたもの。 |
|--|--|--|--|

問2 関東地方の北東部に位置し、東側は太平洋に面している県です。南側は利根川などを境に千葉県と接し、西側では栃木県や埼玉県と隣接しているこの県の名称を答えなさい。 (2018年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 茨城県 | 2. 群馬県 | 3. 栃木県 | 4. 千葉県 |
|--------|--------|--------|--------|

問3 近年の関東地方において、長年続いてきた都心への一極集中に対し、一部で見られる「分散」の動きの背景として、最も関係が深い事柄を選びなさい。 (2022年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 1. 交通網の遮断による物理的な移動の制限 | 2. 農業における労働環境の悪化と離農者の増加 | 3. 都心部における大規模な工業団地の造成 | 4. 情報通信技術の活用によるテレワークの普及 |
|-----------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|

問4 日本の都道府県の統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり1,000人を超え、人口が増加傾向にある県があります。この県は、大規模な工業地域を背景とした高い製造品出荷額を誇ると同時に、全国でも上位の野菜産出額を記録しているのが特徴です。この県はどこですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 神奈川県 | 2. 秋田県 | 3. 宮城県 | 4. 千葉県 |
|---------|--------|--------|--------|

問5 関東地方のある県について、人口密度が1平方キロメートルあたり3800人を超えて非常に高い一方で、夜間人口に対する昼間人口の割合を示す「昼夜間人口比率」が約89.9%と、100%を下回っている理由として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 県庁所在地にすべての機能が集中しているため、県内の他市町村から県庁所在地への移動が極めて多くなっている。 | 2. 製造業が盛んで県外から多くの労働者が流入するため、昼間の人口が夜間の人口よりも多くなっている。 | 3. 東京都などの近隣都県へ通勤・通学する人が多いため、昼間の人口が夜間の人口よりも少なくなっている。 | 4. 広大な農地が広がり人口が分散しているため、1平方キロメートルあたりの人口密度が関東地方で最も低くなっている。 |
|---|--|---|---|

問6 ある県の統計データによると、製造品出荷額が約12兆円と全国有数の規模であり、農業産出額も1300億円を超える全国上位の数値を示しています。その一方で、昼夜間人口比率が約88%と極めて低いという特徴を持つ県はどこですか。 (2024年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 千葉県 | 2. 愛知県 | 3. 滋賀県 | 4. 島根県 |
|--------|--------|--------|--------|

問7 関東平野の台地部分を広く覆っている、富士山や箱根山などの火山活動によって噴出した物質が長い年月をかけて堆積してできた赤土の層を何といいますか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-----------|----------|--------|
| 1. マサ土 | 2. 関東ローム層 | 3. シラス台地 | 4. 泥炭地 |
|--------|-----------|----------|--------|

問8 明治政府が日本の近代化を推進するために、最新の機械と技術を導入して群馬県に設立した施設について説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 長崎県に設置され、鉄鋼の国産化を目的とした官営の八幡製鉄所。 | 2. 北海道の開拓を目的として、屯田兵の居住区に併設された大規模農場。 | 3. 石見銀山遺跡の一部として、銀の精錬技術を全国に広めた施設。 | 4. フランスの技術を導入して建設された官営模範工場である富岡製糸場。 |
|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|

問9 1960年代から70年代にかけて、東京の多摩や大阪の千里、泉北などでは、大規模な計画住宅地の造成が進められました。このような開発が行われた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|---|
| 1. 地方の過疎化を防ぐため、農村部に新たな公共施設や商業施設を整備した。 | 2. 都心の老朽化した建物を集約し、高層マンションやオフィスビルに建て替えた。 | 3. 輸産業の拠点とするため、沿岸部の埋め立て地に大規模な工場を集積させた。 | 4. 都市圏での深刻な住宅不足に対応するため、郊外の丘陵地などを大規模に開発した。 |
|---------------------------------------|---|--|---|

問10 日本の乳用牛の飼育頭数に関する統計において、上位8位までの中に栃木県、群馬県、千葉県、茨城県の4県が含まれている地方として、正しいものはどれか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 東北地方 | 2. 近畿地方 | 3. 中部地方 | 4. 関東地方 |
|---------|---------|---------|---------|

問11 北関東工業地域では、かつての「内陸に点在する形態」から「高速道路の付近に集中する形態」へと工場の立地が変化しています。このような立地の変化が起こった主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------|--------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 原材料や製品の輸送効率を高めるため | 2. 鉄道を利用して労働者が通勤しやすくするため | 3. 工業用水として利用する海水を確保しやすくするため | 4. 船を利用して海外へ製品を安く大量に輸出するため |
|----------------------|--------------------------|-----------------------------|----------------------------|

問12 関東地方の各県における工業統計を示した資料において、栃木県の状況を説明した記述として最も適切なものはどれか。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 京浜工業地帯の中核として、金属工業や印刷・製本業の出荷額が全国で最も高い水準にある。 | 2. 京葉工業地域に含まれ、出荷額の大部分を鉄鋼業と石油化学工業が占める典型的な臨海型工業の構造を持つ。 | 3. 北関東工業地域に位置し、2019年時点の統計でも電気機械器具の出荷額が輸送用機械器具と同等の高い数値を示している。 | 4. 北関東の内陸部に位置しているが、原材料の輸入に依存するため、鉄鋼業が電気機械器具を上回る主要産業となっている。 |
|---|--|--|--|

問13 京浜工業地帯において、出版・印刷業や情報通信などの情報サービス機能が高度に集積している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 内陸部に広大な土地が確保されており、大規模な工場の建設が他の地域よりも容易であったため | 2. 原料となる木材やパルプの輸入拠点となる大規模な港湾が、この地域にのみ集中しているため | 3. 労働賃金が他の工業地域に比べて非常に低く、労働集約的な産業の維持に適しているため | 4. 政治や経済の中核である東京に位置し、情報の発信地や巨大な消費地が隣接しているため |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 その地域に住んでいる住民の数（夜間人口）に、他の地域から通勤・通学してくる人を加え、その地域から外へ通勤・通学する人を引いたもの。	昼間人口は、人々の経済活動や学習活動の実態を把握するための指標です。ある地域に居住している「夜間人口」をベースとして、日中に仕事（通勤）や勉強（通学）のためにその場所を訪れる人を足し、逆にその地域から別の場所へ働きに出たり学校に行ったりする人を引くことで計算されます。これにより、その地域がどれだけ多くの人を引きつける都市機能を持っているかを測ることができます。
問2	答え 1 茨城県	関東地方の北東端に位置する県で、県庁所在地は水戸市です。東側には鹿島臨海工業地帯などが広がる長い海岸線があり、北関東3県の中で唯一海に面しています。南側は利根川を挟んで千葉県と、西側は関東平野の中で栃木県や埼玉県と境界を接しています。
問3	答え 4 情報通信技術の活用によるテレワークの普及	長らく東京都心部への人口集中が続いてきましたが、近年はインターネット環境の整備に伴い、職場に出社せず自宅などで仕事をするテレワークが普及しました。これにより、必ずしも都心に住む必要がなくなったため、住居を郊外や自然豊かな地方へ移す「分散」の動きが見られるようになっていきます。これは一極集中の緩和につながる新しい変化として注目されています。
問4	答え 4 千葉県	千葉県は東京に隣接しており、人口密度が非常に高く増加傾向にあります。産業面では、東京湾沿いに広がる京葉工業地域による高い製造品出荷額と、大消費地に近い利点を活かした近郊農業による高い野菜産出額を両立しているのが大きな特徴です。一方、秋田県や宮城県は千葉県ほどの人口密度はなく、神奈川県は工業は極めて盛んですが、野菜産出額は千葉県の方が高い傾向にあります。
問5	答え 3 東京都などの近隣都県へ通勤・通学する人が多いため、昼間の人口が夜間の人口よりも少なくなっている。	神奈川県は東京都に隣接しており、鉄道網の発達によって多くの住民が都心部へ通勤・通学しています。その結果、夜間に居住している人数（夜間人口）に比べ、昼間に県内に滞在している人数（昼間人口）が少なくなり、昼夜間人口比率が100%を下回る「ベッドタウン」としての性格を強く持っています。対照的に、流入人口が多い東京都の昼夜間人口比率は100%を大きく上回ります。
問6	答え 1 千葉県	千葉県は、京葉工業地域の中心として高い製造品出荷額を誇ると同時に、大消費地に近い利点を生かした近郊農業が盛んであり、農業産出額も非常に高いという特徴があります。一方で、東京のベッドタウンとしての側面が強く、昼夜間人口比率が低いことが大きな特徴です。愛知県も工業出荷額は非常に高いですが、県内での雇用が多いため昼夜間人口比率は100%に近い数値となります。
問7	答え 2 関東ローム層	関東平野の大部分を覆うこの層は、主に富士山や箱根山などの火山から噴出した火山灰が風に運ばれ、堆積したものです。火山灰に含まれる鉄分などの鉱物が酸化しているため、独特の赤みを帯びています。九州南部に広がる火山灰層であるシラス台地や、花こう岩が風化してできた中国地方に多いマサ土との違いを区別しましょう。
問8	答え 4 フランスの技術を導入して建設された官営模範工場である富岡製糸場。	明治政府は、外貨を獲得するために主要な輸出製品であった生糸の品質向上と増産を目指しました。そのためにフランスから技術者や機械を招き、模範となる工場として群馬県に富岡製糸場を建設しました。この施設は後に世界文化遺産にも登録されています。
問9	答え 4 都市圏での深刻な住宅不足に対応するため、郊外の丘陵地などを大規模に開発した。	高度経済成長期、都市部への人口集中により住宅が著しく不足しました。この問題を解消するため、都心から離れた郊外の山林や丘陵地を切り開き、計画的に「ニュータウン」が建設されました。多摩（東京）や千里（大阪）はその代表例であり、都市圏の拡大を象徴する出来事です。
問10	答え 4 関東地方	乳用牛の飼育は北海道が圧倒的に盛んですが、それに次いで飼育頭数が多いのが関東地方の諸県です。これは、巨大な人口を抱える都市圏に向けた「近郊農業」として酪農が発展してきた歴史があるためです。特に栃木県は、北海道に次ぐ全国第2位の生乳生産量を誇るなど、関東地方は日本の酪農において重要な役割を果たしています。
問11	答え 1 原材料や製品の輸送効率を高めるため	現代の工業において、物流のスピードとコスト削減は極めて重要な課題です。高速道路（自動車専用道路）に近い場所に拠点を構えることで、交通渋滞を避けながら迅速に各地へ製品を届けることが可能になります。特に内陸部に位置する北関東では、海に頼らない陸上輸送の利便性が立地選定の決定的な要因となっています。
問12	答え 3 北関東工業地域に位置し、2019年時点の統計でも電気機械器具の出荷額が輸送用機械器具と同等の高い数値を示している。	栃木県は内陸に位置する北関東工業地域の一角を担っており、広い工場用地と発達した道路網を活かした工業展開がなされています。統計上、神奈川県や千葉県のような臨海部の重化学工業（鉄鋼や石油化学）が中心の県とは異なり、輸送用機械や電気機械といった加工組立型の工業が非常に強いことがデータからも読み取れます。特に電気機械器具は、栃木県工業を支える大きな柱の一つです。
問13	答え 4 政治や経済の中核である東京に位置し、情報の発信地や巨大な消費地が隣接しているため	京浜工業地帯は、本社機能が集まる東京から横浜にかけてのエリアに形成されています。出版・印刷業は、最新の情報を取り扱う必要があるため、出版社や新聞社が集中する都市部に工場を構えることが有利に働きます。また、膨大な購買力を持つ消費者が密集しているため、輸送コストを抑えて製品を供給できるメリットもあります。